

■一般目標 (GIO)

歯および口腔の機能を理解するため、歯と口腔および顎顔面を構成する諸構造の解剖学的、組織学的な特徴と機能および歯の発生について学修する。

■到達目標 (SBOs)

歯の記号と歯式を説明できる。
歯の種類、分類、形態的特徴を説明できる。
歯の形態異常について説明できる。
歯列と咬合について説明できる。
歯と歯周組織の特徴、機能、形態、加齢変化を説明できる。
歯の発生、歯の萌出過程と機序、歯の交換について説明できる。
口腔と口腔の諸器官の構造と機能を説明できる。
頭部、口腔を構成する骨について説明できる。
口腔、顎顔面周囲の筋について説明できる。
口腔付近に分布する脈管について説明できる。
口腔付近に分布する神経について説明できる。

■教科書：1 歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の構造と機能
口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学（医歯薬出版）

■参考書：1 歯の解剖学 第22版（金原出版）
2 配布プリント

■授業時間：前期 1) 火曜日 11:00～11:50
2) 水曜日 15:00～15:50, 16:00～16:50
後期 3) 水曜日 15:00～15:50, 16:00～16:50

■オフィスアワー：湯口 眞紀 火曜日 9:00～13:00 (yuguchi.maki@nihon-u.ac.jp)
本淨 敏 水曜日 16:50～17:30 (前期のみ)
難波 祐一 水曜日 16:50～17:30 (後期のみ)

■授業の方法：教科書、参考資料、視覚資料を用いた講義を行う。

■準備学習・ 事前に教科書を読んでおくこと。受講時はノートを取り理解
準備学習時間：不十分な点は授業後時間をあけずに解決を図ること。授業時間と同等の時間を充てて予習・復習すること。

■成績評価方法：前期定期試験（50%）、後期定期試験（50%）を総合して評価する。

■注意事項：学修目標は各自で確認すること。
教科書、配布資料、ノートは必ず用意すること。
前期の本淨担当「歯の形態」の講義では顎歯模型を持参すること。

■ 予定表

授業日・担当者	講 義 項 目	学 修 目 的・到 達 目 標
第1回 4月8日1) 湯口眞紀	2. 歯および歯周組織の構造と機能 1) エナメル質 (教) pp. 135-142, 280 (参2)	・ エナメル質の物理化学的性状, 基本構造および機能を説明できる。 ・ エナメル質の成長線と意義を説明できる。 ・ エナメル象牙境とその近傍の構造が説明できる。
第2, 3回 4月9日2) 本 淨 敏	1. 歯の形態 1) 歯の解剖学総論 2) 永久歯 ① 上顎中切歯, 側切歯 ② 下顎中切歯, 側切歯 (教) pp. 72-88 (参1) pp. 1-21, 35-52, 115-116, 118-19, 125-129	・ 歯の種類と名称, 記号, 歯式, 歯の部位の表し方について説明できる。 ・ 歯冠, 歯根の形態や内部の構造について説明できる。 ・ 歯の左右の識別ができる。 ・ 上下顎中切歯, 側切歯のそれぞれの特徴について説明できる。 ・ 中切歯, 側切歯の上下左右の鑑別ができる。
第4回 4月15日1) 湯口眞紀	2. 歯および歯周組織の構造と機能 2) 象牙質・歯髄複合体 (教) pp. 143-150, 280, 281 (参2)	・ 象牙質・歯髄複合体の概念, 機能を説明できる。 ・ 象牙質の物理化学的性状, 基本構造および分類を説明できる。 ・ 象牙質の石灰化様式と石灰化に関連する構造を説明できる。 ・ 象牙質の成長線を説明できる。 ・ 歯髄の構成要素を説明できる。
第5, 6回 4月16日2) 本 淨 敏	1. 歯の形態 2) 永久歯 ③ 上顎犬歯 ④ 下顎犬歯 ⑤ 上顎第一小臼歯 ⑥ 上顎第二小臼歯 (教) pp. 88-95 (参1) pp. 52-70, 115-116, 119-121, 129-132	・ 上下顎犬歯の形態的特徴を説明できる。 ・ 犬歯の上下左右の鑑別ができる。 ・ 上顎第一, 第二小臼歯の形態的特徴を説明できる。 ・ 上顎小臼歯の左右の鑑別ができる。
第7回 4月22日1) 湯口眞紀	2. 歯および歯周組織の構造と機能 3) セメント質 4) 歯根膜	・ セメント質の物理化学的性状, 基本構造および分類を説明できる。 ・ セメント質の成長線と関連する

授業日・担当者	講 義 項 目	学 修 目 的・到 達 目 標
	(教) pp. 153-161, 280, 281 (参 2)	構造を説明できる。 ・ 歯根膜の基本構造と機能を説明できる。 ・ 歯根膜の細胞成分の組織学的特徴を説明できる。 ・ 歯根膜の線維および非線維成分の組織学的特徴を説明できる。 ・ 歯根膜主線維群の走行, 分類および機能を説明できる。
第 8, 9 回 4 月 23 日 2) 本 淨 敏	1. 歯の形態 2) 永久歯 ⑦下顎第一小臼歯 ⑧下顎第二小臼歯 ⑨上顎第一大臼歯 ⑩上顎第二大臼歯 (教) pp. 95-103 (参 1) pp. 59-62, 70-92, 113-136	・ 下顎第一, 第二小臼歯それぞれの形態的特徴を説明できる ・ 小臼歯の上下左右の鑑別ができる。 ・ 上顎第一大臼歯の形態的特徴および, 第二大臼歯との違いについて説明できる。
第 10 回 5 月 13 日 1) 湯 口 眞 紀	2. 歯および歯周組織の構造と機能 5) 歯槽骨 6) 歯肉 (教) pp. 161-167, 281 (参 2)	・ 歯槽骨の構造, 分類および機能を説明できる。 ・ 歯肉の分類, 構造および組織学的特徴を説明できる。
第 11, 12 回 5 月 14 日 2) 本 淨 敏	1. 歯の形態 2) 永久歯 ⑪下顎第一大臼歯 ⑫下顎第二大臼歯 (教) pp. 99-109 (参 1) pp. 92-136	・ 下顎第一大臼歯の形態的特徴および, 第二大臼歯との違いについて説明できる。 ・ 上下顎大臼歯のそれぞれの特徴の違いを説明できる。 ・ 大臼歯の上下左右の鑑別ができる。
第 13 回 5 月 20 日 1) 湯 口 眞 紀	2. 歯および歯周組織の構造と機能 7) 口腔粘膜 8) 歯の加齢変化 (教) pp. 142, 151, 152 (参 2)	・ 口腔粘膜の組織学的特徴と機能的分類を説明できる。 ・ 歯と歯周組織の加齢変化を説明できる。
第 14, 15 回 5 月 21 日 2) 本 淨 敏	1. 歯の形態 3) 乳歯 ①乳前歯, 乳犬歯	・ 乳歯特有の形態を説明できる。 ・ 乳歯各歯の形態的特徴を説明できる。

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
	②乳臼歯 4) 歯の異常 (教) pp. 110-128 (参1) pp. 137-158, 179-216	それぞれの歯に好発する特徴的な形態について説明できる。
第16回 5月27日1) 湯口眞紀	3. 歯と歯周組織の発生 1) 先行歯の発生 2) 代生歯および加生歯の発生 (教) pp. 180-185, 279 (参2)	- 歯の発生の概要を説明できる。 - 歯胚の構成要素、発生段階および特徴を説明できる。 - エナメル質、象牙質、セメント質、歯髄、歯根膜、歯槽骨の発生学的由来を説明できる。 - 先行歯胚と代生歯堤の位置関係の変化と特徴を説明できる。
第17, 18回 5月28日2) 本淨 敏	1. 歯の形態 5) 歯列と咬合 6) まとめ (教) pp. 128-134 (参1) pp. 161-168, pp. 196-207	- 基本的な歯列弓、歯牙の彎曲、植立について説明できる。 - 歯列弓と頭蓋の関係、および咬合について説明できる。 - これまでの学習項目についての知識を整理し修得度を確認する。
第19回 6月3日1) 湯口眞紀	3. 歯と歯周組織の発生 3) 歯の萌出 4) 歯の脱落と交換 5) 歯の萌出の臨床的考察 (教) pp. 185-190 (参2)	- 歯の萌出過程と機序を説明できる。 - 歯の脱落、交換時の歯および周囲組織の変化を説明できる。 - 歯の萌出異常を説明できる。
第20, 21回 11月12日3) 難波祐一	4. 口腔と口腔諸器官 1) 口腔とは 2) 口唇と頬 3) 口腔前庭 4) 固有口腔 5) 口峽 6) 舌 7) 唾液腺(口腔腺) 8) 咽頭 (教) pp. 6-11 (教) pp. 2-6	- 口腔は消化器の入り口であるとともに呼吸器系や発音器官の一部としても重要な機能を持つことを説明できる。 - 口腔内面は歯冠を除いてすべて粘膜に被われることを説明できる。 - 舌背表面構造と知覚(味覚)の支配神経を説明できる。 - 舌筋の名称と働きを説明できる。 - 口腔に開口する唾液腺を説明で

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
		きる。 ・咽頭の区分および筋を説明できる。
第 22, 23 回 11 月 19 日 3) 難波祐一	5. 頭部, 口腔を構成する骨 1) 頭蓋諸骨 (教) pp. 11-21 2) 上顎骨 3) 口蓋骨 4) 下顎骨 (教) pp. 21-26	・脳を包む脳頭蓋, 顔面をつくる顔面頭蓋を説明できる。 ・眼窩および鼻腔の構造および, そこを経過する神経, 脈管などについて説明できる。 ・副鼻腔について説明できる。 ・頭蓋骨の上面・側面・下面および内面にみられる縫合・窩・突起・結節・管・孔・口・溝などについて説明できる。 ・口腔の土台となる骨について説明できる。
第 24, 25 回 11 月 26 日 3) 難波祐一	5. 頭部, 口腔を構成する骨 5) 顎関節 (教) pp. 35-37 6. 口腔, 顔面周囲の筋肉 1) 咀嚼筋 2) 表情筋 3) 舌骨上筋群 4) 舌骨下筋群 (教) pp. 26-34	・顎関節の特徴と機能を説明できる。 ・下顎を動かす作用をする咀嚼筋について説明できる。 ・口裂周囲の表情筋の働きについて説明できる。 ・口腔底をつくる舌骨上筋群について説明できる。 ・舌骨を引き下げる舌骨下筋群について説明できる。
第 26, 27 回 12 月 10 日 3) 難波祐一	7. 口腔付近に分布する動静脈 (教) pp. 38-46 8. 頭頸部のリンパ系 (教) pp. 46-49 9. 口腔付近に分布する神経 1) 脳神経 ①三叉神経 a. 眼神経 b. 上顎神経 c. 下顎神経 (教) pp. 49-54	・口腔付近に分布する外頸動脈の枝を説明できる。 ・舌動脈, 顔面動脈および顎動脈の分布先の詳細について説明できる。 ・口腔付近に分布する静脈について説明できる。 ・頭頸部のリンパ節や扁桃について説明できる。 ・神経系について説明できる。 ・三叉神経の特徴と所属神経節について説明できる。 ・三叉神経第 1 枝・第 2 枝・第 3 枝の分布を説明できる。

授業日・担当者	講 義 項 目	学 修 目 的・到 達 目 標
第 28 回 12 月 17 日 3) 難波祐一	9. 口腔付近に分布する神経 1) 脳神経 ②顔面神経 a. 舌咽神経 b. 迷走神経 c. 舌下神経 (教) pp. 54-59 2) 脊髄神経 (教) pp. 59-61 10. まとめ	・ 顔面神経について説明できる。 ・ 神経の経路および分布を説明できる。 ・ 舌咽神経の分布先を説明できる。 ・ 迷走神経の特徴を説明できる。 ・ 舌下神経の分布先を説明できる。 ・ 頭頸部に分布する脊髄神経について説明できる。 ・ 自律神経系の作用を説明できる。 ・ これまで学んできた解剖学的知識を横断的に整理し，理解を深める。